

「G7首脳広島ビジョン」



英南部のレイクンヒース英空軍基地前で米国の核配備を行うなど集会を開いた核軍縮運動（CND）や欧州の平和団体の人たち=20日（CNDのツイッターから）

国際NPO「クローバルゼロ」のデレク・ジョンソン代表は声明で、現在核兵器が紛争で使用されるリスクがこの上なく高まっている中で、「核兵器をゼロにしなければいけない」という緊急性を（G7首脳は誰も認識していない）と批判。首脳たちは被爆者からの教訓を直視に持つ限り、二度と核兵器が使用されないために意義ある措置を講ずるべきだと訴えました。

“リスク意図的に無視” “被爆者の願い聞かず”

米国の核兵器専門家のハンス・クリステンセン氏は、広島ビジョンはロシアと中国への批判を除き、本質的にこれまで表明してきた政策を並べていただけで、全く新しいものではない」と指摘。核戦争防止国際医師会議（IPPNW）は「被爆者と市民社会が求める核軍縮の進展に失敗した」と強調しました。

国際NPO「核兵器廃絶国際キャンペーン」（ICAN）は声明で、広島ビジョンは「核兵器のリスクと人道的結果を意図的に無視している」と批判。G7首脳は広島ビジョン発表前に被爆者に面会しながらも「被爆者が求めていることを実際には聞いていなかったことが示された」と断じました。

国際原子力機関（IAEA）のモハメド・エルバラダイ元事務局長はツイッターで、広島ビジョンは「後退だ」として「意図的なあいまいな文言で、決意が足りない」と指摘しました。

反核団体・識者怒りと失望

主要7カ国首脳が19日に発表した「核兵器の抑止力を強調した「核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン」（広島ビジョン）をめぐら、海外の反核団体や識者の怒りと失望が広がっています。

被爆者への裏切り

市民の会 広島ビジョンに抗議

広島原爆被爆者団
体協議会(佐久間邦彦
理事長)、県原水海、県
労連など10団体で構成

する「C7-広島サミット」
を考へるヒロシマ市
民の会」は22日、「核軍
縮に関するC7首脳広
島サミット」(広島サ
ミット)に対して、「被爆
者と被爆地ヒロシマの
願いを重視から裏切
るもの」と抗議する

声明文を、首相官邸、外
務省、G7各国大使館
に送付しました。

声明文では、「ヒジ
ヨン」が、「核兵器のな
い世界」を「究極の目
標」としていること
や、「防衛目的のため
に役割を果たし」などを
主張していることを

「結局(核兵器は)廃
絶しないといふので
ある」「血の核保有

核兵器廃絶への努力を

正当化してはいけない
う時には核兵器を使用
するという「核抑止」
の立場を明らかにして
くる」と指摘。また、
92カ国が署名し、今
世界の規範になりつつ
ある「核兵器禁止条
約」やNPT第6条の
核軍縮義務についても
全く触れていないこと
について、「国際社会の

無視」しておらず、「確
界最初の被爆地・ヒロ
シマ」でサミットを開
催した意味は全くな
い」と厳しく批判して
います。